



曾祖父は高浜虚子。
真実と虚構、^{せめ}聖と俗が闘ぎ合う第五句集！

句集 壱 いち

坊城俊樹 著

「壱」こそが宇宙創成の
ビッグバンである。

高浜虚子の曾孫で俳誌「花鳥」を主宰する著者が、
「客観写生」「花鳥諷詠」の伝統を守りつつも、
新たな詩の有り様を模索する注目の第五句集。
「写生」と「抽象」が交錯し、美しい句姿が読者を
魅了する 400句。



装丁 水戸部 功 / 定価 本体 2500 円 + 税
四六判 上製 224 頁

坊城俊樹 (ほうじょう としき)

昭和 32 年東京都生。高浜虚子を曾祖父に持ち、祖父・高浜
年尾のもとで俳句を始める。句集に『零』『あめふらし』『日月
星辰』『坊城俊樹句集』、著書に『切り捨て御免』『丑三つの
厨のバナナ曲るなり』『空飛ぶ俳句教室』『俳句川柳短歌の教
科書』など。現在、俳誌「花鳥」主宰、日本伝統俳句協会理事。

〈作品抄〉
読初の夜は彗星を朶とし
水鳥の濠に首挿す祈りとも
蛇穴を出で永遠の真昼へと
父はもうこの夏蝶であらざりし
虚子論も冷し汁粉を食べながら
零戦といふ炎帝のやうなもの
水よりも静かな海の夜の秋
コスモスを咲かせ花街の隅に棲む

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRC より全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者 JRC 佐藤)

ご注文 申込書	貴店名・帳合	注文数	発行 朔出版 電話・FAX 03-5926-4386
			句集 壱 坊城俊樹 著 四六判 / 上製 / 224頁 / 定価: 本体2500円 + 税
			冊 ISBN978-4-908978-56-2 C0092